

—Hokutosei—魅惑の35年 の列車

高校 T.K



はじめに

鉄道好きなら誰でも、ブルートレインに憧れたことがあるだろう。中でも最後のブルートレインにして、最高のブルートレインとして挙げられるのは北斗星であろう。今回は、その誕生35年を記念して北斗星について書こうと思う。

北斗星の前史

1988年3月13日、北斗星は本州と北海道を結ぶ青函トンネルが開通した直後、運行を開始した。北斗星の構想は1988年以前からあり、1980年に当時の国鉄は旅行の主流になろうとしていた航空との連携を図るべく、北海道の千歳空港にアクセスしやすくなるよう千歳空港駅(現・南千歳駅)を開設する。これを機に函館を中心としていた鉄道輸送網体系を千歳空港に近い札幌中心の鉄道輸送網体系へ変更したことや、のちに函館―青森間を牽引することになるED791・101号機が1986年、落成したことなどがあった。

車両の種類

北斗星の内装は他のブルートレインとは一線を画していた。中でも注目を集めたのは、ロビーカーと食堂車で、昔から食堂車やロビーカーはあったが高級ホテルというよりもビジネスホテルや社員食堂のようなところだった。また、A寝台には電気を消すと星座の如く輝く壁などを備え、国内の寝台列車初のトイレ、シャワーユニットが個室に導入された。

さらに1990年代には、食堂車、ラウンジ、A寝台デラックスからなる「夢空間」が登場し、一際豪華になっていった。



上はブルートレインさくらの食堂車



右は北斗星の食堂車



←さくらのロビーカー



←北斗星のロビーカー

北斗星の終焉

北斗星は1988年から2015年にかけて幾度も編成が入れ替わっていた1997年には全車個室化、2008年には夢空間廃止、2011年には東日本大震災による長期運休などの時代の流れなどに左右され、2011年以降に運行再開が行われるも、2014年には不定期の計画運休を繰り返すようになる。既に西日本を走る寝台列車はサンライズ以外はほとんど引退し、トワイライトエクスプレスやカシオペアなどの北海道や青森を目指す寝台列車のみ残された。そして2014年、北斗星は北海道新幹線開業を前に定期運行を終え、事実上引退した。

参考文献

東奔北走ーエキサイトブログ

<http://otokoyama1.exblog.jp/17036988/>

「ブルートレインさくらと北斗星の比較」

(食堂車付き九州ブルートレイン最終日 写真)

YouTube Ken O

(北斗星の食堂車、ロビーカーの写真、本誌の(北斗星の前史、車両の種類、北斗星の終焉)

鉄道ファン2015年8月号 特集"北斗星ものがたり"